

令和6年度第1回柳井警察署協議会会議録

開催日時	令和6年6月28日（金） 午後3時00分から午後4時50分までの間	
開催場所	柳井警察署 講堂	
出席者	委員	田代委員、川寄委員、福永委員、平井委員、財満委員、 秋枝委員、西山委員、柏谷委員 計 8名
	警察署	署長、副署長、主幹、警務課長、生活安全課長、 地域第一兼第二課長、地域第三課長、刑事課長、交通課長、 警備課長 計10名
議題	1 警察業務の推進状況 2 警察職員採用募集活動の推進	
<p>1 会長挨拶</p> <p>令和6年度第1回柳井警察署協議会を開催するに当たり、天候の悪い中、皆様には出席いただいて感謝している。季節柄、体調を崩しやすい時期となっているので、気を付けながら過ごしていただきたい。</p> <p>本日の諮問事項は、警察職員採用募集活動の推進となっており、警察職員の採用に関して皆さんの忌憚のない意見を述べていただければと思う。</p> <p>また、現在、柔道・剣道大会を控えて柳井警察署では訓練を行っており、本会議後に訓練視察が予定されているので、最後までよろしく願います。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p> <p>3 業務説明</p> <p>(1) 柳井警察署の体制</p> <p>(2) 生活安全関係</p> <p>ア 刑法犯認知件数</p> <p>イ うそ電話詐欺の認知状況</p> <p>ウ 犯罪抑止に向けた柳井警察署の主な取組</p>		

- (3) 刑事関係
 - ア 刑法犯認知・検挙状況
 - イ 柳井警察署における主な検挙事件
- (4) 交通関係
 - ア 交通事故発生状況
 - イ 交通事故抑止に向けた柳井警察署の主な取組
- (5) 地域関係
 - ア 110番・署（所）通報受理状況
 - イ トータルリスポンスタイム
 - ウ 交番・駐在所発行の広報紙、速報
- (6) 警務関係
 - ア 警察署メールマガジンの配信
 - イ 警察安全相談
- (7) 会計関係
 - 遺失物（拾得）取扱件数

4 諮問事項の質疑応答

（委員）

警察職員を募集していること自体を知らない人が多いと思うので、柳井市が発行している広報紙などと一緒に、何度も繰り返し広報すべきだと思う。

（警務課長）

柳井市の広報紙や、地元の「やにゃい回覧板」などへ定期的に掲載依頼をしているほか、SNSやメールマガジンなどでも積極的に広報しているところであるが、まだまだ広報が足りていないことを念頭に広報活動を進めていく。

（委員）

広報に関しては、イベント会場に積極的に出向くことが大切だと思う。

警察の「いいところ」をしっかりとPRするとともに、「働いていて感じた不安はこうして乗り越えた」などを説明することも必要だと思う。

（委員）

広報やアピールという点では、消防などと比べると、正直なところ足りていないと感じる。消防署は消防車などで保育園に来ることもあり、制服の消防官は園児たちにとってかなり魅力的に映ると思う。

警察もこのような機会があれば良いと思うが、園児がパトカーや警察官を見る機会は少なく、親しみやすさを感じづらいのではないか。子供が小さいうちから警察の魅力についてアピールすることも必要だと思う。

（委員）

先日、柳井警察署の方に腹話術での交通安全教育を実施してもらったが、これらの活動と併せて、子供たちに警察職員を募集していると伝えるようにすれば、子供たちの印象も良くなるのではないか。

(委員)

親しみやすい警察官というアピールは必要だと思う。交通立哨している時に、警察の方から「お疲れ様です」と気軽に声を掛けてもらえるが、こうした親しみやすさを住民が感じられるような活動が重要だと思う。

また、親しみやすさが住民に浸透するようなアピールも大切だと思う。

(委員)

警察官を身近に感じる活動、例えば駅やコンビニエンスストアなどへ立ち寄った際の声掛けも大切な活動であると思う。

いざという時には頼りになる、優しいお巡りさん、優しい刑事さんなどの印象も必要ではないかと思う。

(委員)

今の若い人は意欲が低いと感じることもあるが、そのような若い年代の方々には「君にもできる仕事」「チャレンジしてほしい」というアピール方法が良いのではないか。

(委員)

警察に就職した場合のメリットに関する広報にも力を注ぐべきだと思う。若い職員に対する金銭的な援助なども考えたらどうか。

(委員)

今の若い人は給料や休日を優先するのではないかと思う。

その上で、「目標を持ち達成感が得られる仕事」というやりがいの部分もアピールすべきだと思う。

私は学校の先生の勧めにより就職することとなったので、先生に対する広報も必要だと感じた。

(委員)

最近では、学校のクラブ活動を部外者が指導することも多くなったと聞くが、それを警察官が行えば、指導を受ける生徒たちは警察を身近に感じられるのではないか。

(委員)

他の職業は事前にアルバイトなどの体験をして、場合によってはそのまま就職することもあると思うが、警察社会に入るきっかけとなるような体験ができれば良いと思う。

(委員)

テレビ番組で「島の駐在」などの企画を観ることがあるが、このような企画が増えれば警察を身近に感じると思う。

(委員)

警察に限らず、どの企業でも「選ぶ側」から「選ばれる側」へと変化していることから、「警察に入って仕事がしたい」と思わせる活動が大切である。

(委員)

最近では、大学4年生になる頃にはかなり高い割合で就職先が決まっていると聞いたこともあるので、就職活動が解禁される時期に早めに動き出すことも必要だと

感じた。

また、職業を選択する上で重要なのが給料だと思うので、各種手当についても説明が必要ではないか。

(委員)

サイバー関係の犯罪が増加傾向にあるので、年一回の募集ではなく、年二回に増やすことも必要ではないか。

また、幼稚園や保育園、小学生などに対しても、職場体験などで警察を身近に感じてもらう必要があると思う。

(委員)

警察職員の採用募集に関して各委員から広報活動が大切だと意見が出ていたが、私もそのとおりだと思う。引き続き、効果のある広報活動を展開していただきたい。

また、警察学校は厳しいというイメージがあり、今の学校教育がどんなものか知ってもらう必要があると思う。警察学校で苦楽を共にした同期との絆などについて広報することにより、理解を得られるのではないか。

(警務課長)

警察では、各種イベントや広報紙、高校等に赴いての募集活動などを展開しているところであるが、ご意見のとおりイメージが重要であると再認識した。特に、幼少期から警察を身近に感じてもらえるような活動を行うことが、後の募集活動につながると思われるので、その点にも配慮して募集活動を行ってまいりたい。

なお、現在も募集期間中であることから、皆様の親族や知人等にも声を掛けていただくようお願いする。

5 配付資料

業務説明資料（警察署作成）

6 開催日程

次回警察署協議会は令和6年10月頃に開催予定とした。